

QI	転倒転落損傷発生率
分子	治療を必要とする（レベル3 b 以上）転倒・転落の発生件数
分母	入院患者延数
根拠	JCIにおけるIPSG（国際患者安全目標）に「転倒・転落による患者の負傷リスクの低減」があげられている。厚生労働省の「医療の質の評価・公表等推進事業」にも指標8として上記データが蓄積されているため。転倒転落はゼロにすることは極めて困難であるが、それによる健康被害が最小限に留められることが医療安全に求められている。発生率（千分率）の目標値は施設の機能や患者層によって異なるため、日本病院会データの平均値を定めることとした。
目標	0.08以下（2017年日本病院会QIプロジェクト事業データ結果より平均値を設定）

